

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和4年度）

1. 施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地	大分市大字大在6番地
		電話番号	097-592-5931
		ホームページ	<a href="http://www.oitac.jp/">http://www.oitac.jp/</a>

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称	株式会社大分国際貿易センター	県の所管部課 (局・室)	土木建築部 港湾課 TEL：097-506-4614
	所在地	大分市大字大在6番地		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		

3. 施設の概要

設置年月日	平成9年1月24日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成4年4月に整備事業に着手し、平成8年11月に供用開始した。
事業内容	①港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関する事。 ②港湾施設の利用促進に関する事。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関する事。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関する事。
施設内容	倉庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料（例）】 ガントリークレーン：1回 27,000円(1時間以内) 荷さばき地（15日以内のとき）：1日 3.34円/㎡ 岸壁（総トン数50トン以上の船舶）：1トン1回 4.03円 倉庫：11.9円(1㎡/日) 冷凍コンセント：1口 320円(1時間) トラックスケール：1回 380円
閉館日	年中無休（365日・24時間フルオープン）

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値		実績		達成率(%)	
安全管理率(%)	令和元年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) 企業訪問数(社)		500	50	2	50	0.4%	100.0%
安全管理率(%)	令和2年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) 企業訪問数(社)		500	50	0	21	0.0%	42.0%
安全管理率(%)	令和3年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) 企業訪問数(社)		500	50	116	41	23.2%	82.0%
安全管理率(%)	令和4年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) 企業訪問数(社)		500	50	149	32	29.8%	64.0%

5. 施設の利用状況

コンテナ取扱量※ (外貨及び内貨) (TEU)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度	6,531	5,357	6,492	5,942	6,109	6,278	
	令和2年度	5,256	4,822	4,494	5,583	6,226	5,544	
	令和3年度	6,292	5,642	5,738	6,940	5,642	5,620	
	令和4年度	5,966	6,000	6,260	6,572	6,377	4,907	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度	6,124	6,089	6,758	5,435	5,746	6,049	72,910
	令和2年度	6,921	6,301	6,006	5,429	5,393	6,755	68,730
	令和3年度	7,023	5,810	6,587	5,784	4,989	5,978	72,045
	令和4年度	6,715	5,862	5,471	5,242	5,647	5,488	70,507

※空コンテナの取扱量含む

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度 調査	実施方法	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」の際に、港湾利用者から要望等の聴き取りを実施する。 (令和4年7月28日)
	実施結果	指定管理者、コンテナターミナル利用者(鶴崎海陸運輸(株)、日本通運(株))と大分県で連絡調整会議を行った。 Eゾーン海側の舗装状況が悪く、凸凹で舗装が剥がれキャリア走行に支障が出ているため補修してほしい等の要望が出た。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
老朽化の進んだ「防災設備」入りコンテナの補修又は交換をしてほしい。		令和4年度県予算で交換済
ゲートからの順路をわかりやすく矢印等で標示してほしい。		令和4年度県予算で実施済
ガントリークレーンが老朽化してきているため更新してほしい。		令和3年度から更新事業に着手 令和4年度設計済、令和5年度から工事予定
冷蔵倉庫の火災報知器が他社分の警報も吹鳴するため対応に追われ業務に支障が出ているため回線を分けてほしい。		警報盤の更新工事済

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実にいき良好な状態に維持管理し、365日・24時間常にサービス提供ができるよう努めた。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。</li> <li>○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。 (R4.10.14大阪セミナー58人参加、R4.11.24東京セミナー110人参加、R5.2.8大分セミナー116人参加)</li> <li>○ 大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議を行い、利用者から直接意見の聴取を行い、意見や要望を解決できるようにサービスの向上に努めている。</li> </ul>
イベント等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。</li> <li>○ 小学生の社会見学、インターンシップ、企業向けの施設見学受け入れ。 (年間21回、企業10団体、小中高校4校、インターンシップ関係4団体等の施設見学を受け入れ)</li> </ul>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入額(A)		52,411	55,236	55,917	56,386
内 訳	県からの委託料	52,411	55,236	55,917	56,386
	利用料金				
	事業収入				
	自主事業収入				
	その他				
支出額(B)		50,859	53,030	55,925	54,187
内 訳	人件費	20,444	21,534	24,422	21,168
	維持管理費	20,373	20,851	20,586	22,426
	事業費				
	自主事業費				
	その他(通信運搬費、消耗品等)	10,042	10,645	10,917	10,593
収支差額(A-B)		1,552	2,206	-8	2,199

